



2021 日本自動車殿堂 歴史遺産車

日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し
日本自動車殿堂に登録して永く伝承します

Cars that blazed the trail in the history of Japanese automobiles are selected,
registered at the Hall of Fame and are to be widely conveyed to the next generation.

トヨタ セルシオ /Lexus LS400

TOYOTA CELSIOR/Lexus LS400

CELSIOR



1989年10月9日に発売されたトヨタ セルシオ。「至上・最高」の意を表すラテン語セルサス（CELSUS）をもとに命名された造語。

トヨタ セルシオ(1989年)主要諸元

全長	4995mm	型式	UCF11型
全幅	1820mm	エンジン型式	1UZ-FE型
全高	1400mm	駆動方式	FR
ホイールベース	2815mm	エンジン	V型8気筒DOHC 32バルブ
トレッド(前)	1565mm	ボア×ストローク	87.5×82.5mm
トレッド(後)	1565mm	総排気量	3968cc
車両重量	1750kg	圧縮比	10.01
乗車定員	5名	最高出力	260ps/5400rpm
最高速度	---km/h	最大トルク	36.0kg-m/4600rpm
最小回転半径	5.5m	変速機	電子制御式4速AT(ECT-i)
タイヤサイズ	215/65R15	価 格	550万円(消費税含まず)

注：データは上級グレードのC-タイプのもの。



セルシオに搭載された1UZ-FE型3968cc V型8気筒DOHC32バルブ260ps/36.0kg-mエンジン。



随所にウォールナットを採用したセルシオの豪華な運転席まわり。



ドアトリムやシートに本革または高級ファブリックなど天然素材を使用、前席シートには 8 ウェイパワーアジャスターを採用した。

セルシオは 1989 年 1 月、米国・デトロイトで開催された北米国際オートショー（NAIAS）に「レクサス LS400」の名前で発表され、トヨタがこの年、新しく展開した高級車ブランド「レクサス」の販売チャンネルで、同年 9 月 1 日から発売された。そして、同年 10 月 9 日、日本仕様が「セルシオ」の名前で国内発売された。

「この車から、クルマが変わります。」「高級車の新しい世界基準。」「想像を超えた高級車をつくりたい。完全への挑戦は、トップのその言葉から始まった。」これらはセルシオのカatalogに掲げられたコピーである。トヨタにはセンチュリーというフラッグシップがあるが、これはどちらかといえば法人需要を目的に開発されており、これとは別個にパーソナルユースを主眼にしたフラッグシップとして開発されたのがセルシオであった。

ドイツのメルセデス・ベンツ S クラス、BMW 7 シリーズ、アメリカのキャデラック、リンカーンなどと互角、あるいはそれらを凌駕する、世界トップレベルのハイパフォーマンスラグジュアリーカーの創造を基本コンセプトとして開発された。構想がスタートしたのは 1984 年。主要市場である米国に住み着いて、高級車に関する徹底したマーケティングが行われ、開発された。

高速クルージング性能については、セルシオの開発に歩調を合わせるように進め、1987 年に完成した北海道・士別試験場の時速 250km を超える高速走行が可能で、世界トップレベルのテストコース（全周 10km）などにおいて徹底的な走り込みを実施することにより、優れた高速直進安定性、操縦安定性と乗り

心地の高次元での両立、さらにはスムーズで高い動力性能と極限ともいえる静粛さを実現した。また高精度な造り込みや美しい塗装面、長期にわたる初期品質の保持など、日本ならではの精緻な工芸品をほうふつさせるクルマとして、国内外で高い評価を得た。

開発にあたっては、3700 名の開発スタッフ、450 台もの試作車と 6 年の歳月を要してセルシオ（レクサス LS400）は完成した。そして、発売から 2 年後には米国で最も販売台数の多い輸入高級車のブランドとなり、その地位をゆるぎないものとしている。

技術的な特徴としては、レーザー溶接を多用して剛性を高めた軽量ボディーや、制振積層鋼板の採用など、数多くの革新的技術が導入されている。また、視認性に優れたオプティトロンメーター（自発光式アナログメーター）や、超音波雨滴除去ドアミラーなど、世界初の技術も多く取り入れられていた。

セルシオは新しい日本の高級車の在り方、方向性を世界に示した初めての国産車であった。同時にトヨタは、米国をはじめ、欧州やアジアなど世界に新しい高級車ブランドとして、セルシオを第一弾とした「レクサスブランド」を展開し、その後「レクサス」はトヨタにおける第二のブランドとして認知されている。

2005 年 8 月には日本国内にもレクサスブランドを展開し、4 代目セルシオは 2006 年 4 月、レクサス LS460 として発売された。日本車として初めて世界の高級車と肩を並べたセルシオは、国内のマーケットにおいて認められただけでなく、日本車の技術レベルを世界各国に認めさせ、レクサスブランドの礎を築いた記憶すべきクルマの 1 台である。

（日本自動車殿堂 研究・選考会議）